

パピーウォーカー
加藤 雅子 さん

「パピーウォーカー」とは、盲導犬候補の仔犬を飼育するボランティアのこと。生後50日から約1年という飼育期間の間に、仔犬は人間でいうと16～18歳くらいにまで成長すると言われており、その間の経験はその犬の性格形成に大きな影響を与えます。仔犬の頃から家庭での社会経験を積み、愛情に包まれてのびのびと成長することによって、「人に優しい盲導犬」となるための基礎が作られるのです。

加藤さん一家が初めて預かる盲導犬候補生、それがグランです。「盲導犬としての訓練が始まるため、9月にはお別れです。一緒にいられる時間は限られているけれど、なんとか盲導犬になれるようにしてあげたい」と話す雅子さんの声には、責任感とグランへの愛情が込められています。



遊びたい盛りで、走り回ってはじゃれついてくるグランの、元気で人懐っこいぐさはまだまだ仔犬のものですが、時折雅子さんの目をじっと見つめるまなざしは、真剣そのもの。愛情を一身に受けて立派に育ったグランが、人に優しい盲導犬として活躍する姿が見えるような気がします。



▲ グランを抱く雅子さん(右)と次女のみなみちゃん(左)

人が大好きな・・・

人に優しい盲導犬に・・・



編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎ 681-2400内線224 FAX681-6639